

■【販売店様へ】ユーザー様へこの取扱説明書を渡してください。

スプレーガン取扱説明書 NSG30・SG30-P8°・SG25・SG25-P6°型用

※下記の画像はNSG30型を使って解説しています。上記の他の型式のものも同じ使用方法です。

1、散水範囲の設定のやり方

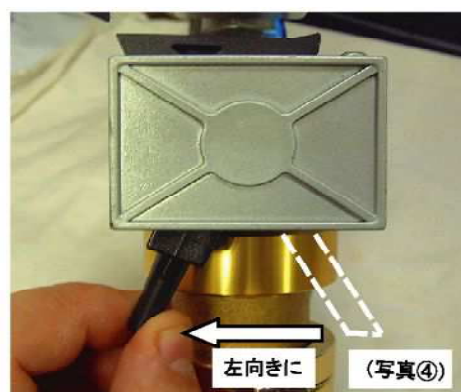


2本の角度調整リング（写真①）の、切替レバーをはさんでいる方の範囲を変えること（写真②）によって散水範囲（回転範囲）を決めることができます。散水範囲の確認のやり方はスプレーガン本体を手で左右に動かすことにより、どの範囲を散水するかが確認出来ます。

2、全円(360° 回転)散水の設定やり方



1、スクリューを緩めて最下部まで角度調整リングを下げる(写真③)



2、切替レバーの付いている部分(写真④)を、水の噴出口（ノズル）の後ろ側から見て左向きに設定する。
(注意:スプレーガンが右周り(時計周り)に散水していくことを確認して下さい。)

3、散水距離を短くする（噴霧状態変更）のやり方



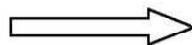
スプレーガンから吐出する水の噴霧状態を変更する(手前側を多く散水したい時など)には「ジェットピン」を右回転し、突起部を吐出する水に当てるようにします。当たり加減によってお好みの散水状態に調整して下さい。(通常は出荷時のままお使い下さい)

4、ノズルの交換方法



スパナ・モンキーレンチなどを使って交換してください。ノズル交換する際には既存のOリングをご使用ください。【注意:OリングはNSG30・NSG30-P8° 型のみ装着されています】

5、回転速度の調整方法



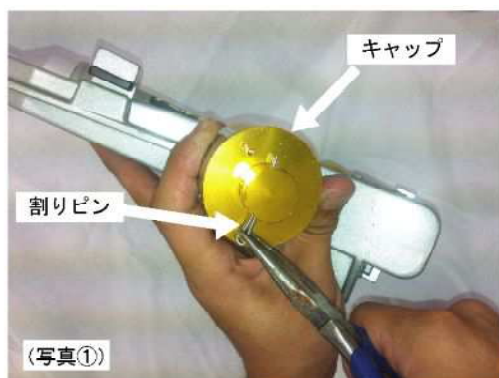
本器の回転を早くしたり、遅くしたりするには、割ピンを一方の手の指で持ち他方の手でキャップを押さえてから割ピンを抜きます。回転を早くするにはセンターキャップを右へ廻して、キャップの中のスプリングを強くします。この時注意することは回転させるのは半回転かせいぜい一回転にし、余り極端にしないこと、キャップを上を持上げるとスプリングの固定が外れますので御注意下さい。遅くするには反対に左に廻してキャップの中のスプリングを弱くします。作業の最後に割ピンを曲げて抜けないようにして下さい。

■【販売店様へ】ユーザー様へこの取扱説明書を渡してください。

スプレーガン修理取扱説明書 NSG30・SG30-P8°・SG25・SG25-P6°・SG40

※下記の画像はNSG30型を使って解説しています。上記の他の型式のものも同じ使用方法です。

1. 分解



分解して内部を洗浄するために、キャップ(写真①)を外します。割りピンを一方の手の指で持ち他方の手でキャップを押さえてから割りピンを抜きます。割りピンを抜きキャップを押さえている手を離すと、締め付けられているキャップ内のバネが緩みます。緩んだのを確認したら、キャップ・バネ・ブッシング(写真②)を外します。

2. 洗浄



分解後洗浄をします。バネ・ブッシング(写真③)や支柱(写真④)等に砂等がこびりついてしまっていると回転不良の原因となります。各部品の砂を水で洗い流したり、タオルで拭きとって洗浄してください。写真③・④のように、潤滑スプレーを使用して拭き取るとかなり効果があります。

3. 組立



写真②で分解したキャップ・バネ・ブッシングを組み立てます。キャップとブッシングにバネの先端が刺さるような穴が開いているので、挿入してください。

写真⑤で組んだキャップ・バネ・ブッシングをスプレーガン本体の支柱にはめ込みます。バネの先端が右斜め後ろ(写真⑥)を向くようにはめ込んでください。

4. 調整



写真⑥ではめ込んだ状態からキャップを3/4回転(270°)右に廻してもらえると出荷時のバネの状態になります。キャップを上を持ち上げるとバネの固定が外れますので御注意ください。回転をさらに早くする場合は、キャップを右に廻してキャップ内のバネを強くします。この時注意することは回転させるのは半回転か、せいぜい一回転にし、あまり極端にしないこと。遅くするには反対に左に廻してキャップの中のバネを弱くします。作業の最後に割りピンを曲げて抜けないようにしてください。